



みやぎ視能訓練士の会

The Association of Miyagi Orthoptists

3月号の会報をお送りします。

～内容～

- ① 第2回全体会報告 P2-5
- ② 運営委員からのお知らせ P6

★☆☆会報、その他に関するお問い合わせ

koho@myg-ort.com

☆☆★会員記録や登録アドレスに関するお問い合わせ

j.ort@myg-ort.com

★☆☆会費に関するお問い合わせ

kaikei@myg-ort.com



2024 年度第 2 回全体会報告

日 時:2025 年 2 月 20 日(木) 19:00~20:45

形 式:現地開催

会 場:仙台市生涯学習支援センター 会議室

参加者:3 名

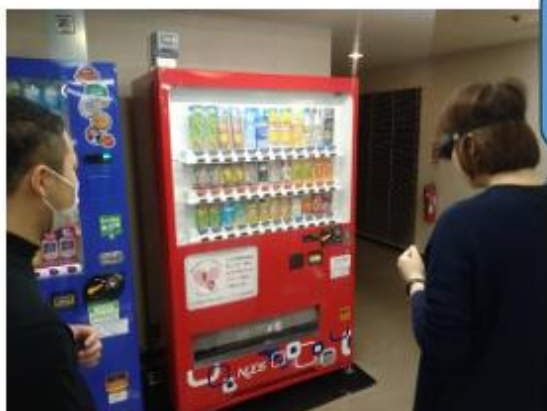


内 容:「見えにくさ」を体験しよう

① シミュレーションゴーグルを使って体験しよう

視野狭窄バージョン/視力低下バージョン

平面の移動・階段・自動販売機・スマホ操作・文字を読む 等々・



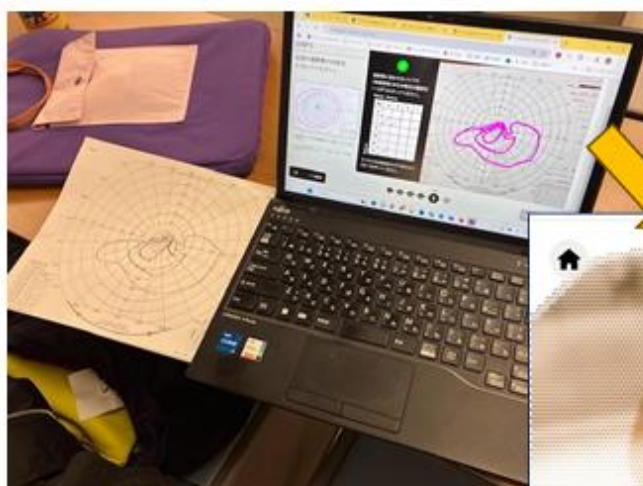
ポカリスエットは・・・どれだ？
顔を動かさないと探せない



足元が怖
い!下りが
とくに

② 「VISIONGRAM」を試してみよう

視力・視野(GP)を入力し、見え方を体験



データ入力するとスマホのカメラ
で実際の見え方を確認できます



③ 視力の低い状態で見えやすい環境とは？

クリアファイルを使って、読み書きの距離や文字の太さの確認
折り紙を折ってみよう



このままでも読めるけど、スマホで白黒反転してみると見やすい！
じっくり見たいときは白黒反転がいいね。



折り紙の端は・・・どこ？

④ 10分間力試し！

視能訓練士国家試験過去問に挑戦



いつになく真剣な表情です
全問正解なるか？！

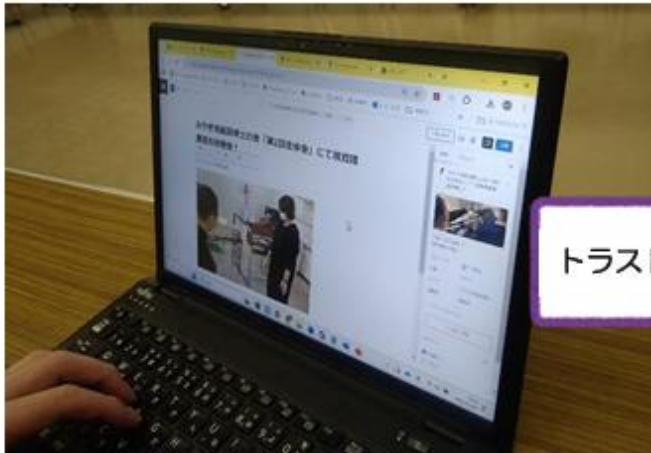
「見えにくさ」を体験しよう！

いくつかのアイテムを使って「見えにくい」体験を行いました。

「視野狭窄がある人は移動が大変」、「低視力は読み書きが難しい」知っている情報であっても実際体験してみると、なぜ移動が大変なのか、移動の際の頭の位置がどうなっているのか、見えにくいけど、見えない訳ではないんだな・・・等、体で感じるものがたくさんありました。

見えにくさを知ることで、じゃあ安全な移動とはどうしたらいいのか、読み書きの環境はどのようなものがあるのか、視能訓練士がアドバイスできることはなにか、様々な意見を出し合うことができました。

また全体会当日は視能訓練士国家試験日ということもあり、最後に過去問に挑戦しました。シミュレーションキットをお借りしたトラストメディカルのホームページに全体会の様子が掲載されています。



トラストメディカル ブログ



参加者の感想です。

見えにくさの体験をすることで患者さんの気持ちによりそうことができると考えます。視覚障害を可視化する VISIONGRAM は患者さんや家族への説明だけではなく、視能訓練士としてその人の見え方をリアルに捉えることができ、業務に活かせると思いました。

今回の勉強会では視覚障害の見え方だけではなく、読み書きや歩行の体験もできた有意義な時間でした。参加人数が少なかったのもっといろいろな人に体験してほしいと思いました。

「見にくさの体験」スマホを使って実際の視野を体験したり、見にくい状態で折り紙したり、ゴーグルをつけて狭い視野&視野はあるけれど視力が悪い体験をしました。部屋を出て自動販売機を探す(なんのドリンクなのかわからない、オシャレなデザインほど見にくい!)

廊下を歩いてみる(暗くなると怖くなって足が止まる)

トイレに入ってみる(蓋が閉まっているかわからない、のでとりあえず触る。和式に関しては存在すら不明)

階段を登り降りする(踊り場だと思うところにまだまだ段差あり。特に下りは恐怖)

もう、すべてが怖い!!

この見にくい怖さを体験した上で、相手に立ってもらう位置、見る字をスマホで拡大したり白黒反転させたり音声で読み上げることができたり、背景の色を変えてみたり、と、工夫によって見え方が全く違う「見やすくなる体験」もできました。この見やすさも、一概に同じではなく、症例によって見やすいポイントが違うのも実感できました。これは視能訓練士の知識がフルに活かされるポイントだなと感じました。

日々進化と工夫されていて、

実際検査をして頭でわかっているのと、体験してみるのとは全く違ったので、貴重な勉強会でした。



シミュレーションゴーグル体験を見学した際、視野狭窄のゴーグルをつけて歩く体勢が、顔を下に向けて足下を確認しながらすり足になり、手で自分の前を探るような動きをしながらゆっくり移動していました。前に進むことが怖い、そんなように見えます。次に視力 0.02 のゴーグルで移動をすると顔は前を向き進行方向を見ながら進んでいました。進むスピードは早くなったものの壁に立てかけてある額縁が浮き上がって見え、物と自分との距離感がつかみにくいことが伝わります。視力と視野の違いで視線や体勢が違うことがよくわかりました。

低視力の状態でスマホを見ると文字を読むことにとても時間がかかるけれど、距離や白黒反転を使うことで読むことが少し楽になる、折り紙は机の上に一枚色の濃い紙を置くことで折り紙の端が見やすくなる、ちょっと工夫をすることで行動へのハードルが下がることを実感しました。

「見えにくい」って大変だな、かわいそうだな、と思うよりも見えにくいけど工夫があればできる事が増えるな、その工夫と一緒に見つけることができる視能訓練士でありたいと感じました。

文責:太田

VISIONGRAM

TOP

CONCEPT

CREATE

HOW IT WORKS

NEWS

CONTACT

JP EN

視覚障がいをも、可視化する。

視覚障がいの見え方は、障がいの数だけ存在する。

しかし、自分の見え方を、言葉で説明することは難しい。

もし、それを共有できれば。

障がい者と健常者の間に、

新しいコミュニケーションが生まれるはず。

「VISIONGRAM」。

それは、視覚障がいを可視化するデザイン。

障がいの検査データを元に、

一人ひとり異なる見え方を再現した

ビジュアルフィルターを生成する。

視覚障がいへの理解が深まり、

障がい者も健常者も

共に暮らしやすい世界を目指して。

来年度のチーム編成を行います！
チームの変更希望の方、相談したい方は
3月20日(木)まで事務局へご連絡

ください。 j.myg.ort@gmail.com



第 17 回施設紹介

『医療法人 五星会 あやし眼科クリニック』

ホームページからご覧ください！

<https://myg-ort.com/>